

第7回 “女性農業者のための 農業経営基礎セミナーin札幌” ～農業経営の課題を見出し、解決への第1歩を！～

日 程 : 1回目(前半) 平成30年1月16日(火)～17日(水)
2回目(後半) 平成30年2月13日(火)～14日(水)

会 場 : 中小企業基盤整備機構北海道本部 大会議室
(札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階) TEL 011-210-7470

受講定員 : 20名(先着順)

受講料 : 無料(但し、交流会については会費制)

受講対象者 : 農業経営を支える女性の皆様(経営者又は経営者の妻など経営に携わっている方)
※農業法人経営・家族経営を問いません。新規就農者の方も歓迎いたします。
なお、後半(2/13)の講義の一部は、第1回～第6回(23年度～28年度)の修了生も聴講可

主催：中小企業基盤整備機構北海道本部

後援(予定)：北海道農政事務所、北海道、北海道農業公社

協力：北海道農業法人協会

【セミナーのねらい】

小規模な農業法人や家族経営の農業においては、女性農業者の皆様が農作業だけではなく経理・労務管理、商品開発など多くの業務を担っており、その役割は非常に大きい一方で、農業者同士(特に女性)の接触が少なく、現在の状況や自分のやり方に自信が持てず、苦労や悩みを抱えている場合も多いのではないのでしょうか。

本セミナーは、このような農業経営を支える女性農業者の皆様に、企業経営の手法の観点から自社の現状と課題を見直していただき、解決への方向性を見出ししていくことを目的として、労務や財務の基本、魅力ある職場づくりのための方策、売れる商品づくりなど広く農業経営に関わる事項について分かりやすく解説します。併せて、同じ農業経営に挑戦する女性仲間として、ランチ会や交流会などを通じて大いに語り合い、視野とネットワークを広げていただければと思います。過去6回の受講者の皆様の多くが、本セミナーをきっかけとして新たな挑戦や経営改善に繋げています。今回も受講者の皆様の更なる活躍の第1歩となることを期待しています。

また、今回は、第1回～第6回までの修了生による事例発表もあります。先輩達の話聞いてみませんか！！

【カリキュラム】1回目(前半)

※ 適宜休憩が入ります。

月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
1/16 (火)	12:50～13:00	開講式	オリエンテーション	
	13:00～14:00	アイスブレイク	◆自己紹介 ◆セミナー参加の動機・目的は何ですか	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎 悦子
	14:00～16:00	魅力ある職場づくり	農業における「魅力ある職場には何が必要か」「魅力ある職場をつくるために何をすべきか」考えてみましょう。 ◆あなたの職場の現状はどうですか ◆魅力ある職場とはどんなところだと思いますか ◆どうすれば魅力ある職場になると思いますか ☆ブレイン・ストーミングの手法を使い、グループ討議を行います！	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎 悦子
	16:00～17:30	農業経営における 労務管理	良い人材に長く働いて貰うためには労働環境を整えることが重要です。農業経営における労務管理の特色や留意事項について学びます。 ◆農業現場の現状と課題 ◆農業における労働関係の法令、制度 ◆事業承継	社コンサルティング・オフィス 代表 辻 亨 中小企業診断士
	18:00～20:00	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
1/17 (水)	9:00～12:00	農業経営における 財務管理	農業簿記の基礎を理解し、財務管理の必要性和効果について学びます。 ◆クミカン頼りで井勘定になっていませんか？ ◆簿記のしくみと仕訳の方法 ◆決算書から診える経営内容	社コンサルティング・オフィス 代表 辻 亨 中小企業診断士
	13:00～15:30	職場づくりのための コミュニケーション術	楽しい職場づくりのためのコミュニケーションの重要性について、学びます。 ◆コミュニケーション術とリーダーシップ ☆ゲームを通して、理解を深めます。 ◆従業員等への教え方・対応の仕方のコツ	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎 悦子
	15:30～16:00	まとめ	◆前半のまとめ ◆財務・労務における課題の解決策について(宿題)	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎 悦子

【カリキュラム】2回目(後半)

※ 適宜休憩が入ります。

月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
2/13 (火)	13:00~14:30	職場の課題解決に向けて	前半の講義を受けて、インターバル期間中に課題解決のために何を実行しましたか、何か変わりましたか。 ◆課題の解決に向けた行動を振り返って考える。	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎 悦子
	14:30~17:30	第1回~第6回の修了生による事例研究	本セミナー修了生のその後の歩みから学びます。(発表と意見交換) ◆意識の変化・飛躍ポイント・ ◆新たな挑戦・目標は ※本科目は、第6回までの修了生も参加します。	第1回修了 竹内美穂 第1回修了 石丸和江 第5回修了 牧野 萌 前掲 田崎 悦子
	18:00~20:30	交流会	受講者同士の懇親と情報交換(第6回までの修了生も参加します。)	
2/14 (水)	9:00~12:00	商品開発の基礎	売れる商品づくりについて、学びます。 ◆商品開発の目的 ◆商品開発において押さえておくべきポイント ◆商品づくりの手順	シニア野菜ソムリエ 6次産業化プランナー 萬谷 利久子
	13:00~15:00	農業経営を考える	今後の農業において、なぜ経営的な手法が必要か、これからの農業経営には何が考える必要があるか学びます。 ◆農業をとりまく環境の変化 ◆企業経営手法の導入の意義(必要性) ◆農業経営の特性(おもしろさとリスク)	(株)GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文
	15:00~16:00	研修を終えて	この研修において気づいたことや今後の課題についてまとめます。 ◆この研修で何を心得、これから何に取り組みますか ◆まとめ	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎 悦子
	16:00~16:10	閉講式		

※前後半(延4日間)とも参加いただくことを前提としたカリキュラムとなっておりますので、併せてご参加ください。
※カリキュラムについては、変更する場合があります。

《主な講師のご紹介》

■ 田崎 悦子 (たさき えつこ)

苫小牧駒澤大学国際文化学部 准教授。専門は、キャリアデザイン、生涯学習、農業人材育成。北海道の地域づくり(観光・食・ツーリズム)に長年携わり、各種の研修・セミナーの講師として活躍中。地産地消の活動を続け、現在は苫小牧市食育推進協議会委員長を務める。研究者としては新規就農のキャリア形成、農業指導者の指導・育成に関する論文も多い。本セミナーの第1回目からのメイン講師を務め、受講生からの信頼も厚い。

■ 辻 亨 (つじ とおる)

辻コンサルティングオフィス代表。中小企業診断士。農業経営アドバイザー、農業改良普及員資格。農協職員として30年にわたり経営改善支援や農業振興施策の実務に携わる。その後独立し、農業経営の改善支援(財務分析・技術分析)、投資計画策定支援、地域の農業振興計画の樹立と実践(国・道の各種補助事業の活用)、新規就農者への支援(農地制度等の各種制度活用)等実績を有する。

■ 岩井 宏文 (いわい ひろふみ)

(株)GB産業化設計 代表取締役。仙台市出身。北海道大学大学院卒業後、現(株)ドーコン入社。(財)北海道農業企業化研究所を経て、2011年にGB産業組織設計を設立し、同年10月に現社名に変更。北海道の農業の現場を飛び回り、北海道農業の高い潜在力を活かした、これまでにない新たなビジネスフィールドをともに考え、「しくみ」を設計・構築している。新たな農業ビジネスの開発や農業経営の改善、6次産業化等への取り組みに実績を有する。

■ 萬谷 利久子 (ばんや りくこ)

2009年に「シニア野菜ソムリエ(道内4人目)」を取得し、日本野菜ソムリエ協会の講師となる。同協会認定「青果物ブランディングマイスター」として農産物のマーケティングを行う。2012年より、6次産業化プランナーとなり、生産者の商品開発や店舗などをサポートしている。STVラジオ、Air-G' FM北海道で食関連番組も担当。

■ 石丸 和江 (いしまる かずえ)

第1回修了生。(有)社名淵みどり牧場(遠軽町)。代表者の妻。酪農270頭、畑作。

■ 竹内 美穂 (たけうち みほ)

第1回修了生。江別市。畑作6ha、稲作5ha。農業後継者。女性農業グループ“はらぺ娘”に参画。

■ 牧野 萌 (まきの もえ)

第5回修了生。蘭越町。新規就農者。トマト0.2ha。

【受講のお申込み】

下欄の受講申込書に必要事項をご記入の上、FAX（011-210-7480）にてお申込み下さい。

◎申込みは、平成30年1月12日（金）まで受け付けます。（但し、先着順で、定員に達した場合は早期に締め切る場合があります。）

受 講 申 込 書

中小機構北海道 人材支援課（FAX（011-210-7480）） 行

平成 年 月 日

セミナー名	第7回「女性農業者のための農業経営基礎セミナーin札幌」 ～ 農業経営の課題を見出し、解決への第1歩を！ ～		
ご住所	〒 -		
	電話（ ） -	/ FAX（ ） -	
企業名等		代表者名	
ふりがな		年齢	歳
受講者氏名		役職等	
経営の概要	①畑作（ ha） ②稲作（ ha） ③花卉（ ha） ④果樹[品目：]（ ha） ⑤酪農（ 頭） ⑥畜産（ 頭） ⑦その他[]（ ）		
本研修に期待すること (自由記入)			

(注) 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。
当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。
ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

◇交流会について

交流会については、農業経営に頑張る「仲間づくり」のためにも是非ご参加いただきたいと存じます。詳細については、申込受付後改めてご案内いたします。（会費制となりますので、あらかじめご了承ください。）

<会場案内図>



【お申込み・お問合せ先】



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部
人材支援課 担当： 林 ・ 杉森
札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE 札幌ビル6階
TEL: 011-210-7475 FAX: 011-210-7480

中小機構北海道とは

国の中小企業施策の実施機関で、北海道農業の経営強化や高付加価値化の支援も行っております。また、中小機構北海道が運営する「中小企業大学校旭川校」では企業の人材育成のための様々な研修を行っております。

中小企業大学校旭川校：旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号
TEL 0166-65-1200